

**平成 30 年度鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 第 1 回会議
会議録**

1 日 時 平成 30 年 8 月 2 日（木） 午前 10 時 30 分から 12 時 5 分まで

2 場 所 市役所本庁舎 4 階大会議室

3 出席者

(1) 委員

| No. | 氏 名 | 所属・職名 | 備 考 |
|-----|--------|-----------------------------|------|
| 1 | 鎌田 薫 | 安房農業協同組合 常務理事 | |
| 2 | 田原 智之 | 鴨川市漁業協同組合 参事 | |
| 3 | 島田 誠一 | 鴨川市商工会 会長 | 委員長 |
| 4 | 鈴木 健史 | 一般社団法人鴨川市観光協会 会長 | |
| 5 | 内山 達也 | 学校法人城西大学城西国際大学 観光学部 副学部長 | 副委員長 |
| 6 | 恵美須 文枝 | 学校法人鉄蕉館亀田医療大学 副学長 | |
| 7 | 米山 信義 | 鴨川市金融団 幹事 (千葉銀行鴨川支店長) | |
| 8 | 角田 憲一 | ヤスダファインテ労働組合 執行委員長 | |
| 9 | 高野 孟 | 株式会社インサイダー 代表取締役 | |

(順不同、敬称略)

※欠席

| No. | 氏 名 | 所属・職名 | 備 考 |
|-----|-------|------------------------------|-----|
| 1 | 金井 重人 | 公益社団法人安房医師会 (東条メンタルホスピタル) | |

(順不同、敬称略)

(2) 市

| No. | 所属・職氏名 | 備 考 |
|-----|-----------|-----|
| 1 | 市 長 亀田 郁夫 | |
| 2 | 副市長 小柴 祥司 | |

| | | |
|----|---------------------------|-----|
| 3 | 教育長 月岡 正美 | |
| 4 | 経営企画部 部長 増田 勝己 | |
| 5 | 総務部 部長 松本 憲好 | |
| 6 | 健康福祉部 部長 牛村 隆一 | |
| 7 | 建設経済部 部長 平川 潔 | |
| 8 | 経営企画部 企画政策課 課長 大久保 孝雄 | |
| 9 | 経営企画部 財政課 課長 山口 昌宏 | |
| 10 | 健康福祉部 子ども支援課 課長 羽田 幸弘 | |
| 11 | 建設経済部 農林水産課 課長 川崎 正博 | |
| 12 | 教育委員会 学校教育課 課長 洲永 康弘 | |
| 13 | 教育委員会 生涯学習課 課長 石川 丈夫 | |
| 14 | 経営企画部 企画政策課 課長補佐 石井 宏子 | 事務局 |
| 15 | 経営企画部 企画政策課 課長補佐 石井 秀征 | 〃 |
| 16 | 経営企画部 企画政策課 主任主事 早瀬 努 | 〃 |
| 17 | 経営企画部 企画政策課 主事 小粒 将一 | 〃 |

(3) 傍聴者

1名

4 資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・席次表
- ・出席者名簿
- ・資料1 鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について
- ・資料2 鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るアクションプラン平成29年度実績

及び平成 30 年度計画

- ・資料 3 鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るアクションプラン及び平成 27・28 年度実績
- ・資料 4 地方創生関連交付金事業の実施結果及び重要業績評価指標（KPI）の達成状況
- ・平成 29 年度第 3 回会議会議録

5 会議内容

（1）開会（午前 10 時 00 分）

（2）委員交代の報告及び紹介

鴨川市金融団幹事が館山信用金庫から千葉銀行鴨川支店に変更となったことに伴い、館山信用金庫鴨川支店長 鈴木 親彦氏から委員交代の申出があったため、平成 30 年 8 月 2 日付けで、同氏の後任委員として、千葉銀行鴨川支店長 米山 信義氏を委嘱したことを事務局から報告するとともに、米山委員を紹介した。

（3）市長あいさつ

（要旨）

本市における地方創生の取組については、平成 28 年 1 月に総合戦略を策定し、本格的な事業展開を図ってきたが、昨年度は計画中間年度に当たり、取組の総点検を行い、皆様にもご意見を頂きながらアクションプランを改定したので、このプランに基づき、引き続き地方創生に向けた取組を着実に推進していく。

本年度においては、外部人材の活用や部制の導入といった組織体制強化のもと、「市立国保病院の整備」、「君津四市とのごみ処理施設の統合とそれに伴う清掃センターの改修」、「天津小湊地区小学校の統合とその跡地利用の検討」、「鴨川観光プラットフォーム株式会社の機能強化」、「株式会社良品計画との連携によるみんなみの里の機能拡充」、「スポーツを活用したまちづくりの推進」、「有害鳥獣対策」、「地域高規格道路『館山・鴨川道路』の早期事業化に向けた要望活動」など、本市の将来を見据えた、様々な施策の一層の推進を図っていく。

しかし一方、本市の財政状況は想定以上に厳しく、これら事業を支える健全な財政基盤づくりを進めることが喫緊の課題となっていることから、現在、「強い鴨川づくりに向けた財政等適正化基本方針」の策定を進めており、今後はこの方針に基づき、「行政事業レビューによる事務事業全般の検証」を実施するなど、抜本的な改革を行っていく。

「市民にわかりやすい行政運営」、「市民に納得して頂ける行政運営」、このための市政改革、財政改革、これを平成 30 年度の大きなテーマとして、強い覚悟をもって全力で取り組んでいく。

地方創生を私どもと一体となって推進していくパートナーの一人として、主体的かつ建設的な意見を頂くよう、お願いする。

（4）委員長あいさつ

(要旨)

前回の会議では、アクションプランの見直しについて審議し、その結果を受けて、本年3月に改定を行った。

本日の会議では、アクションプランに位置づけられた事業の取組結果と計画、地方創生関連交付金事業の効果検証について審議を行う。

皆様には、是非、主体的かつ建設的なご意見を頂くとともに、会議の円滑な運営にご協力を頂きたい。

(5) 議 題

鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき会議が成立したことについて事務局から報告した後、同条第1項の規定に基づき、島田委員長が議長となって議事を進行した。

冒頭、議長から、名簿順に 角田 憲一 委員及び 高野 孟 委員を会議録署名委員として指名した後、議事に入った。

議題1 鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

○アクションプラン平成29年度実績及び平成30年度計画について

資料1から資料3により事務局から説明し、資料のとおり承認した。

質疑等は次のとおり。

・会議の運営方法について

《鈴木委員》

膨大な資料を読み上げていただいたが、我々に何が求められているのかが理解できない。その点を明確にしてから審議を進めていただきたい。

《大久保課長》

本日お諮りしたい事項は、事務事業の進行管理の部分になる。資料2のアクションプラン平成29年度実績及び平成30年度計画についてご意見を頂きたいと考えている。

・ユニバーサルデザインによるまちづくりについて

《内山副委員長》

資料2の10頁「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の合宿誘致などを契機としたユニバーサルデザインによるまちづくり」について、実績、計画共に「障害者に対する理解を深め、思いやりの心を育む「バリアフリー」の推進に努めるため、ガイドブック等を活用した市民意識の啓発を実施」となっているが、これをより推し進めていくことが必要だと感じている。

国土交通省では、バリアフリーマップを作成するための支援ツールを用意しており、都内においてもバリアフリー化に向けた整備が行われている。市としてこういった取組を具体的に進めていく予定があるのかお伺いしたい。

《平川部長》

パラリンピックに向けたバリアフリー化の推進については、様々な意見を頂いている。公共施設については我々で整備をすべきものであり、民間の宿泊施設等については意見を伝え、対応していただくという形を想定している。道路については、全てをバリアフリー化することは困難であるが、改良工事を行う中で少しずつ整備していく予定でいる。

《牛村部長》

国でも推進している地域共生社会（地域の中で障害のあるなしに拘わらず共生する）を推進していく中で、具体的な施策は現在実施していないが、本市に合った施策を今後検討していく予定でいる。

《内山副委員長》

パラリンピックについては選手のみならず、様々な人が訪れることが想定されるため、誰もが訪れやすいバリアフリーのまちであることをアピールし、かつ、その受入れの準備を進める必要がある。

・市の財政状況及び重点施策について

《鈴木委員》

冒頭、市長から市の財政状況が厳しい旨の説明があったが、事業についてメリハリをつけることが必要であるように感じる。重点的に取り組む予定がある事業があれば教えていただきたい。

《大久保課長》

部制の導入に伴う組織体制強化のもと、「市立国保病院の整備」、「天津小湊地区小学校の統合とその跡地利用の検討」、「株式会社良品計画との連携によるみんなみの里の機能拡充」などが今年度の大きな取組予定となっている。

《市長》

財政状況が厳しい状況であることは先に述べたが、事業の個別具体的な検証については、「強い鴨川づくりに向けた財政等適正化基本方針」の策定を進めており、それに伴い実施していく予定でいる。

・その他

《惠美須委員》

（持参した資料に基づき、「車いすの街 鴨川：かもがわ（親子のカモが安心して暮らせる街）」について説明。）

提案した事項は全て既存事業と連携することが可能であり、新たな事業の提案をしているわけではない。連携を強化することで実現は可能であると感じているのだが、どうお考えか。

《平川部長》

観光振興や市全体のインフラ整備の面から考えても、バリアフリー化は重要な施策であると認識している。庁内の連携を進めながら取り組んでいく予定でいる。

《増田部長》

アクションプランに関連づけることは可能であるように感じる。頂いた資料を参考に、

今後検討していきたい。

○地方創生関連交付金事業の実施結果及び重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

資料4により事務局から説明し、資料のとおり承認した。

質疑等は、なし。

議題2 その他

事務局から、次回会議の日程については、調整の上で改めて連絡することを説明した。

(6) 閉会（午前12時5分）

(以上)

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、平成30年度鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議第1回会議における会議録の内容について確認します。

平成30年9月12日

角田 憲一

高野 孟